

討 論

今定例会では、議案2件に対して3議員が討論を行いました。
その概要は次のとおりです。

◎障害者施設条例の一部改正

反対 日本共産党
岡寄 郁子 議員

利用者の負担軽減策が示されていない

改正により、利用者負担が原則1割の定率負担となり、本人及び配偶者の所得に応じて段階があるものの、高い人は月8500円にも上るとのことです。利用者負担は現状のデイケア施設から増えることのないように市の対策を講じるべきです。法定施設となり、市は2千万円以上も持ち出しが減ります。一方、運営費は月額方式から日払い方式に改められ、通所者の利用状況等に応じて運営費が減額される仕組みとなり、施設運営が困難になる事態が生じると多くの施設で問題になりました。

◎平成20年度一般会計補正予算（第4号）

反対 日本共産党
望月 久晴 議員

基金積み立てよりも市民要求実現に

補正財源19億円のうち18億円が基金積み立てで、公共施設等整備基金には10億円を積み立てています。同事業費の一般財源分をオーバーしており、財政調整基金は31億円もある中で、これほど公共施設等整備基金に積み必要性はないのではないのでしょうか。生活が危機的状況にある市民には、市税・国保税の減免対策を直ちに行うべきです。また、中小

企業へのさらなる緊急不況対策や市民要求にはほとんど計上されていません。

来年10月から65歳以上の高齢者の住民税を年金から天引きするための税基幹システム改修業務委託料については、税の自主申告・納税の原則を崩すものであり、圧倒的多数の高齢者が強く反対しており、認めることはできません。

賛成 公明党
三浦 芳一 議員

基金による計画的な施設改修は適正

本市の公共施設等は、昭和40年代から50年代にかけて建設されたものが多く、経年による老朽化が著しく進んでいます。公共施設等は常に安全な状況で使用できるよう、計画的・効率的に整備を進めていく必要がありますが、単年度での財源確保は、他の行政サービスとの低下を招く恐れがあります。災害発生時に災害対策本部となる市庁舎の耐震

傍聴席へ どうぞ



本 会 議 … 行政と議会の生の声を！

傍聴は、生で市政の動きを知る絶好のチャンスです。ぜひ一度、議場に足を運んでみてください。
議場には、傍聴席53席（車いす席2席）が設けられています。市役所8階の傍聴席入口で受付簿に住所・氏名などを記入のうえ入場してください。

委 員 会 … 白熱した議論を間近で！

4常任委員会と2特別委員会（交通環境対策、指定管理者制度）を公開しています。傍聴席数は、各委員会とも一般用5席です。

請願・陳情



皆さんの意見を市政・議会に反映する手段の一つです！

議会開会日の3日前までに提出された請願は、その定例会で所管委員会に付託し、審査されます。
次回3月定例会への提出期限は2月20日（金）です。
提出に当たっては、請願の件名・要旨・理由のほか、紹介議員の署名、提出者の住所・氏名を記載し、押印の上、議会事務局に提出してください。

陳情は、紹介議員の必要はありませんが、議場配布のみの取り扱いとなりますので、ご承知おきください。

一 般 質 問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例市議会で、市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では12月2日から3日間、15人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。



乳がん検診は

全員が受診できないか

「全員が受診できるようにしたい」

議員 ピンクリボンウォークに対する市の考え方と今後の取り組みは。

医療保健センター事務長 ピンクリボンウォークは、乳がんの早期発見のための検診を啓発するために、市長を会長とした

実行委員会が主催して昨年から実施している。乳がん検診の必要性を理解していただき、受診につながるよう支援していくことが行政の役割だと考えている。

医療保健センター事務長 乳がん検診は、本年度、18歳以上の市民を対象に、昨年の申し込み人数相当の25000人の定員を予算化したが、6月の申し込み期間には定員を大きく上回る3223人の申し込みがあり、事前にお知らせしたように、抽選で25000人を決定した。

いか。

しかしながら、市が先頭に立って、ピンクリボンウォークなどで啓発活動をしていることもあり、申し込まれた市民全員に受診していただけるよう、追加設定について調整をした結果、抽選に漏れた方全員に受診していただくことが可能となった。現在、手続きを進めているので、間もなくご案内をしていきたい。

※ ピンクリボンウォーク……乳がんへの理解、早期発見・治療の重要性を認識いただき、一人でも多くの命を救うための運動の一つ。



▲富士山の初冠雪は8月9日——最も早い記録を94年ぶりに更新した2008年でした。（撮影12月1日）



▲乳がん検診を啓発するピンクリボンウォーク

議員 乳がん検診は、申込者全員が受診できるようにすべきではない。